

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	甲賀市児童発達支援センターつみき			
○保護者評価実施期間	令和6年12月19日		～	令和7年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68	(回答者数)	47
○従業者評価実施期間	令和6年12月19日		～	令和7年1月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	複数のクラスがあり、子どもに合わせた取組を実施することができる	クラスの職員間で子どもの様子をしっかりアセスメントし、必要な取組をクラスの活動として取り入れていくことを常に考えてクラス運営をしている。また、クラスとして取り組むことが難しい場合は、個別の時間も組み合わせながら対応している。	引き続き、子ども一人ひとりに合わせた支援を考えていく。また、事業所内だけでの取組にならないように、保護者としっかり話をし、家庭状況を把握したうえで、家庭に必要な支援や取組を保護者が実践していけるように支えていく。
2	様々な職種が在籍しており、多職種連携ができる	子どもの発達のアセスメントや必要な支援、取組を考える際に、心理士、保育士・指導員、言語聴覚士、作業療法士など多職種で一緒に検討している。	今後も、それぞれの専門性を活かし、活発に意見を出し合うことで、子どもや保護者に対する支援方法や必要な取組を考えていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	その日の活動内容によっては、保護者とゆっくり話す時間がとりにくいこともある。	保護者には子どもと一緒に活動に参加してもらうことも多いため、活動内容によっては、職員と保護者がゆっくり話す時間が取りにくいこともある。	子どもの発達や必要な支援について保護者としっかり話す時間をどう捻出するかを次年度に向けて検討していく。活動プログラムの見直しや、職員配置、懇談の実施など工夫できることを早急に考えていく。
2	事業所内での子どもの様子は共有しているが、家庭での様子や取組について十分把握しきれていないことがある。	通所している際に、実際の子どもの姿を見ながら保護者と話すことはできても、そこから家庭での様子まで把握しきれていないことがある。職員自身が、事業所での取組だけでなく、生活全般において必要なことを、保護者と一緒に考えられるようになっていく必要がある。	保護者や周りの大人が子どものことを理解し、必要な関わりを考えられることを目指すために、子どもの様子を保護者としっかり共有していきたい。また、支援者の意識を高めるための研修なども定期的に行っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	甲賀市児童発達支援センターつみき	公表日	令和7年3月11日
------	------------------	-----	-----------

		利用児童数	保護者68名（令和6年12月時点）				回収数	47
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースは十分に確保されていますか	100%	0%	0%	0%	・広々と走り回れて楽しそうなので嬉しいです。	
	2	職員の配置数や専門性は適切ですか	72%	26%	0%	2%	・担当者が1人で2人の子どもを担当すると、保護者と話したりしてる間は行動を観察できない。また担当者が多忙で子どもの活動に追いつかない時がある。 ・二人の生徒に一人の先生が合っているのでしょうか。一人に付いていると片方が困ってる事があるのではないのでしょうかと少し感じました。 ・担当者が2人担当すると動きや感情などの些細な変化や違いを把握しきれていないと感じるときがある。 ・期により子どもの人数や性質、先生の配置等も変わるので環境や体制についても印象はその期により過ごしやすい部分、過ごしにくい部分があると感じます。	・つみきでは、子どもたちが自分でわかって主体的に行動することを目指しており、クラスの職員数は、基準を十分満たし安全面に配慮したうえで、子どもにとって刺激が多すぎないように検討し、配置しています。担当者だけでなくクラスのスタッフ全員が連携しながらお子さんや保護者の方に対応し、より相談しやすい環境を整えていきたいと思います。 ・新規利用の方がおられますので、半年ごとにクラスや職員配置は変更があります。クラスが変わるときは、職員間で引継ぎを行い、子どもにとって過ごしやすい環境や体制を整えていきたいと思います。
	3	センターは、お子さんにとってわかりやすい環境になっていると思いますか また、センターの施設は、バリアフリー化されていますか	91%	6%	3%	0%	・時々ですが、遊び場の養生テープに引っかかることがあります。	・ボールプール下のマットのめくれを押さえている養生テープがはがれてきていることがあり、貼り直しをしました。館内全体を定期的に確認し、不具合がある場合は早急に対応していきます。
	4	センターは、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか また、子どもたちの活動に合わせた空間となっていますか	96%	4%	0%	0%		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題に沿った個別支援計画が作成されていると思いますか	85%	13%	0%	2%		
	6	個別支援計画には、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援」の項目について、具体的な支援内容が設定されていますか	74%	13%	0%	13%		
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか	81%	15%	0%	4%		
	8	遊びや活動は、お子さんにあった内容で、固定化しないように工夫されていますか	83%	15%	0%	2%	・子どもに合う部分もあれば合わないと感じる場面もあるが、集団療育という性質上仕方がないと思っています。 ・子どもの特性に合ってるかというよりは、同じような内容を行ってるように見え、個性の部分が分かりにくい ・子どもは楽しんで行ってくれているが、家庭での状況があまり変わってないように思う ・毎回プランを変えて遊びを考えてくださっていて嬉しいです ・どうすれば子供が参加できるか、色々考えて下さってます。ありがとうございます	・つみきでは、6人程度のクラスを編成し、その中で社会性の広がりを目指す活動を取り入れています。クラスの活動の中で、一人ひとりに合わせた内容になるように今後も工夫していきます。 ・つみきでお子さんに合わせた環境や関わり方の工夫を実践し、それを家庭や園など、つみき以外の場所でも活かしていただけるよう、引き続き保護者の方と一緒に取り組んでいきます。
保護者への説明等	9	重要事項説明書について丁寧な説明がなされましたか	90%	6%	0%	4%		
	10	個別支援計画書を示しながら、支援内容の説明がなされましたか	96%	4%	0%	0%		
	11	保護者に対して家族支援が行われていますか（保護者学習会やクラスルーム、支援項目リストの活用など）	91%	6%	0%	0%	（未回答1件）	
	12	センターのスタッフと、お子さんの発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	81%	13%	0%	6%		
	13	お子さんへの関わりや必要な取り組みについて、センターのスタッフと話したり、一緒に考えることができますか	85%	11%	0%	4%	・半年間で先生の配置換えがあるので変わるたびに相談しにくいと感じる。 ・担当の先生は子どものことを理解して対応して下さっているとを感じるが、複数の子どもを担当されていることもあり相談等なかなかできない部分もあります。 ・いつも困って悩んでいるとき親身になって色々一緒に考えてくださります。ありがとうございます！	・新規利用の方がおられますので、半年ごとにクラスを編成しています。職員配置の変更の際には、職員間でしっかりと引き継ぎを行っています。今後より一層、保護者の方が相談しやすい対応を心がけていきます。 ・職員の連携を図り、クラスの職員が誰であっても保護者の方の相談をお聞きすることができる体制をとっていきたいと思っています。心配なことがありましたら、気軽なお声をかけください。
	14	保護者学習会やつみきひろば（保護者交流会）の開催等により、保護者同士の関わりが支援されていますか	85%	13%	2%	0%	・保護者同士の関わりが持てるように交流会やクラスルームなど開催もありがたいです。	
	15	保護者からの相談や申し立てをスタッフに伝えやすいですか。また、その後の対応は適切だと感じますか	81%	13%	0%	4%	（未回答1件）	
	16	スタッフは子どもや保護者に対して、わかりやすく伝えたり、思いを聞くことができていると思いますか	87%	9%	0%	2%	（未回答1件）	

	17	センターからのお知らせなど、情報提供は十分されていますか	91%	6%	0%	0%		
	18	個人情報の取扱いは十分注意されていますか	96%	2%	0%	2%		
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知されていますか	66%	15%	2%	17%		
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると思いますか	92%	4%	0%	4%		
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしていますか	87%	11%	0%	2%		
	22	センターの支援に満足していますか	89%	11%	0%	0%	・通所によって改善になっているのかがあまり分かりません。 ・毎週だと習慣になるのですが、行事などの休みで少し開いてしまうとリズムが崩れるのが気になります。 ・週一回の約2時間で月にすると3回程度は療育の時間としてはやや少ないようにも感じる。 ・通所させていただいて良い部分が多いですが、期が変わることに周りの子どもや先生が変わることによる不安等があります。 ・つみきに通うようになって、私も相談出来る場所ができて、子育てに関しては悩みが減って気持ちがすごく楽になりました。子供との向き合い方がわかり、それが子供に伝わり、成長へとつながっていると実感しています。 ・つみきの先生方のおかげで、子どもの社会性や対応の方法も自分たちで出来るやり方など、様々な世界が広がったと思います。私一人では、こうならなかった。先生方の支援のお陰です。本当にありがとうございます。 ・発達相談もつみきで行ってくださいるので、つみきの先生や保育園の先生とも共有しやすく良いと思います。	・つみきでお子さんに合わせた環境や関わり方の工夫を実践し、それを家庭や園など、つみき以外の場所でも活かしていってもらえるよう、引き続き保護者の方と一緒に取り組んでいきます。 ・新規利用の方がおられますので、半年ごとにクラスを編成しています。職員配置の変更の際には、職員間でしっかりと引き継ぎを行っています。今後より一層、保護者の方が安心できるような対応を心がけていきます。

公表事業所における自己評価結果

事業所名		甲賀市児童発達支援センターつみき		公表日 令和7年3月11日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・子どもにとってわかりやすい環境作りを心がけています。また、今年度、入口のゲートを車いすや歩行器なども通りやすいように変更しました。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・今年度から保護者アンケートをスマホから回答できるようにするなど、保護者が意見を出しやすい方法を検討しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・第三者の外部評価は実施できていないので、今後実施を検討していきたいと思います。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・内部研修、外部研修を積極的に受講しています、また、職員内から自発的な研修実施も増えています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・適応行動の状況に限らず、発達段階や感覚統合についてなど、アセスメントのためにいくつかの標準化されたアセスメントツールを使用しています。また、合わせて行動観察などのインフォーマルなアセスメントも行っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・定期的な園訪問を実施するなど、連携を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・利用者の多くは普段園に通っているため、事業所として機会を設けることは現在はありません。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・昨年度までは、本課である発達支援課からの参加となっていましたが、今年度からは事業所として参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・子どもの姿を見るためのポイントを項目ごとにまとめたリストを使うなど、共通理解しやすいような方法を検討し、実践しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			

保 護 者 へ の 説 明 等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・保護者交流会を開催しています。OB保護者との交流会を実施したことで、先輩保護者の話を聞いてもらう機会をもつことができました。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・地域のお店や公共施設に出かけることはありませんが、事業所に地域住民を招待するようなイベント等は実施していません。引き続き、こちらから地域に向くなかで、利用者にとって必要な経験をしていけるようにと考えています。
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・食物アレルギーについて保護者からの聞き取りは行っていますが、医師の指示書の提出までは求めています。保護者同伴のため、口にするものは保護者とともに十分確認しています。調理活動の場合は調理活動計画書をたて使用する食品は成分表の確認を行い、対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			